

-----3月2日-----

今週のアウトルック (3/2 ~ 3/6)

先週は木曜日まで円安が進み、金曜日は利益確定の円高が進むという展開でした。

ドル円はチャートの的には98円後半から99円へのトライに失敗する形となりました。

ユーロ円も126円台、ポンド円も141円台に乗せることに失敗した形となっています。

このあたりが今週の焦点になりそうです。

月曜日の朝からは大きく円高方向へ向かう形となっています。

一度ドル円は99円台にもう一度トライする可能性が強いかなと考えていたので、少し意外な感じですが。今年は少ないと考えられていた日本企業のリパトリが少なくない可能性も考慮する必要があるのかもしれない。

問題は本日の海外市場のように思います。

本日の海外市場で、円買いドル売りの状況が継続するようだと一気に円高トレンドに転換する可能性もあるように思います。先週の状況を考える限り、短期の投機筋のポジションも少し円売りに傾いていることも予想されますので、ある程度は考えられると思います。

97円台を大きく割り込んでから再び99円台にトライに行く可能性は少ないように思います。

逆に本日の海外市場で、大きくドルが買い戻されて、99円台にトライに行く状況だと、もう少し円安トレンドは続きそうな様子です。

数回のトライで100円超えということがありうると、円安トレンドは本物ということになってしまうかもしれません。

基本的には短期的に綱引き状態が続く可能性を考えています。その後は円高になるようなイメージですが、時期やターニングポイントについては予想しづらいように思います。

また綱引きの幅、つまりボラティリティが大きくなる可能性もあるように思うので、あまり速くトレンドを判断してしまい、無理にトレンドに乗ろうとしないほうが良いかもしれません。

システムトレード的アドバイス

「最大ドロウダウン」

システムトレードの場合、バックテストでどの程度の負けトレードを覚悟すべきかは予測できます。また最大ドロウダウンから資金の一時的落ち込みがどの程度になるのかをある程度把握することも可能だと思います。

裁量トレードの場合は、バックテスト的な考え方が困難なため、損失がどの程度までになるのかを予想することが難しいです。また、あまりルールに従わないでトレードを続けてしまうと、思いのほか損失が膨らんでしまう可能性もあります。

こういった状況を回避するためには、1日、あるいは1週間程度（トレードスタイルで変えてよいと思います）最初は金額で最大ドロウダウン的な損失リミットを決めておいた方がよいと思います。口座金額のパーセンテージなどの場合は、直感的にわかりずらく、決断が鈍る可能性もあります。

決められた期間で、たとえば5万円の累計損失額以上になってしまったら、ポジションをすべてクリアしてトレードを一定期間休止する。わかりやすいルールを作ることが重要だと思います。

そういったルールにきちんと従うことは資金管理面で非常に有効な手段だと思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。